

なるほどのじ



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

9月号



(中学校)新学習指導要領の実施に向けた授業改善と定期テストの問題作成

新学習指導要領で求められる知識の理解の質を高め、確かな学力を育成するために、各校では授業の創意工夫や定期テストの問題作成の改善に取り組んでおられることと思います。本号では、国立教育政策研究所が選定・分析した全国の高等学校入学者選抜問題において、工夫された良問や特色のある問題について、一例を取り上げて紹介しています。大学入試改革や高等学校入学者選抜問題、全国学力・学習状況調査等で求められている「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」「実生活で生きる汎用的な能力」を育てるための授業改善や定期テストの問題作成等にぜひお役立てください。

(小学校)算数の授業におけるタイムマネジメントについて(例)

算数科の校内研授業公開で、適用題までたどりつくことなく終了しているケースが見られます。適用題で児童のつまずきを確認すること無く授業を進めている実態はないでしょうか。本号では、授業のタイムマネジメントの例をお示ししています。適用題の時間を確保することにより、児童が学んだことを活用し、学ぶ楽しさや達成感を実感することができます。ぜひ日々の授業計画作成の際や授業研究会等でご活用いただくとともに、他の教科等においても本時目標達成に至るプロセスを明確にする際の手がかりとしてお役立てください。

全国学力・学習状況調査結果公表 ～学力向上を実現するための効果的なアプローチ！！～

全国学力・学習状況調査の結果公表が早くなった今年度は、夏季休業中に結果について全職員で分析された学校も多かったのではないのでしょうか。本号では、課題解決に向けて参考となる実際に効果の上がった学校の取組を紹介しています。2学期からの具体的な取組について、協議したり共通理解を図ったりする際の参考資料としてお役立てください。

全ての子供にとって居心地のよい学校づくり ～いじめの未然防止と早期発見で、全ての子供が活躍する2学期へ～

子供が新たな一面を見せる2学期がスタートしました。運動会や文化祭等、様々な行事を通して子供が成長していく学期であるとともに、個として集団として大きく変化する時期です。夏休み明けの子供たちの小さな変化を「チーム学校」として見取り、情報を共有するとともに、アンケート結果等を有効活用することで、全ての子供にとって居心地のよい学校が実現されると考えています。

昨日の学習とちがうところはないかな？

十の位が0です。

十の位から借りられない。

これまでの学習との相違点を本時のめあてにつなげる

104
- 7

答えはどのくらいになりそうかな。

【答えの見通し】

十の位から借りられない場合はどうすればいいかな？

【解決方法の見通し】

90 < 答え < 100 ← 後で答えの検証に使用

十の位はどのくらい？

十の位が0で借りられなかったから、百の位から借りたんだよね。

十の束が十個になったから……。

発問により本時のポイントを引き出す

304
- 27

今日の問題の解き方を説明してみましょう。

百の位が一じゃなくても解けるかな？引く数が二けたになったらどうかな？

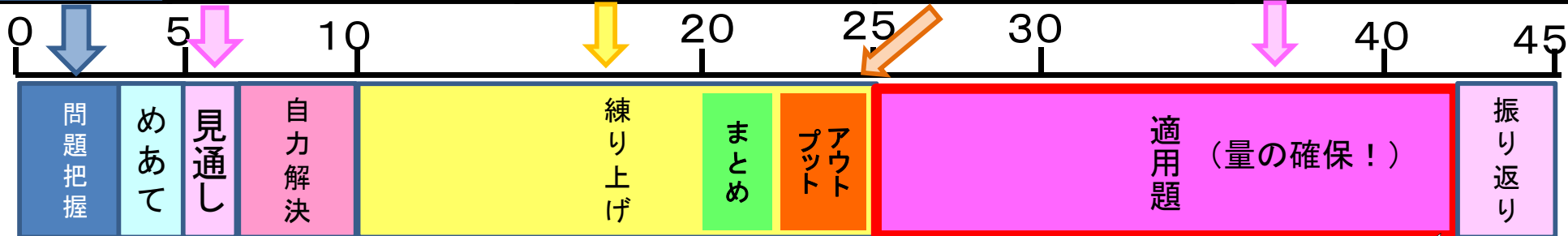
まとめたことを使って全員が解き方のポイント等をアウトプットする

早く終わった人は、自分で問題を作って解いてみましょう。

今日学んだことを使って問題を解いてみましょう。

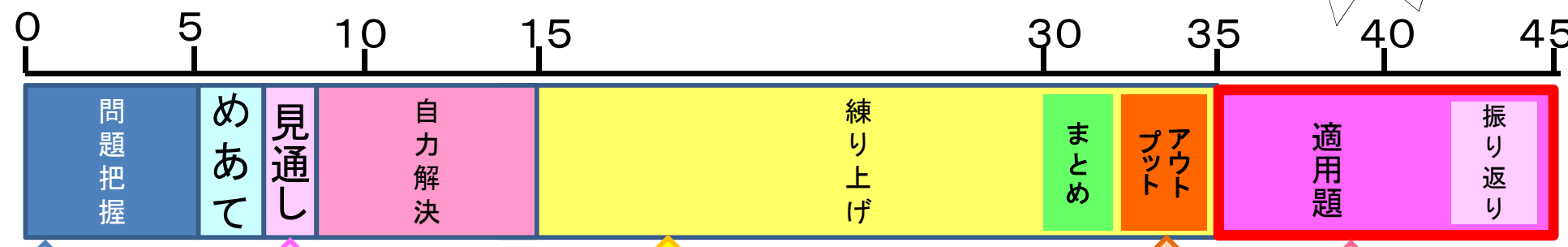
数値や条件を変えた問題を解く量の確保

知識・技能



算数の授業におけるタイムマネジメントについて(例) 45分で確実に力を付ける!

思考・判断・表現



困っているところや難しいところは？

公式が使えません。

正方形の面積も長方形の面積も同じ……。

問題の解き方で困ったこと、課題等を本時のめあてにつなげる

今まで習った中で、何が使えるところかな？

【既習事項の確認】

どんな方法を使えば解けそうかな？

【解決方法の見通し】

一つ目の式はAさんもBさんも同じだけど、この式は問題でいうとどこのことかな？

AさんとBさんの考え方の同じところ、ちがうところは？

私はたし算でやったよ。どうしてひき算？

ここに補助線を引くと長方形になって……。

図、表、式、問題場面を関連付けながら話し合う

例えばカタカナのこの字型の場合でも……。

公式が使えるように、図形を分けたり移動したりすればいいから……。

まとめたことを使って、数値や条件を変えてアウトプットする

この問題を解く場合、どの方法が一番便利かを考えて解きましょう。

①
②

考え方を問う等、ねらいに応じた適用題を設定する。

全国学力・学習状況調査結果公表 ～学力向上を実現するための効果的なアプローチ！！～

全国学力・学習状況調査の結果が公開となりました。調査結果についての分析・考察を通して、自校の課題を明確にし、子供の学力向上を保障する具体的な取組を、学校全体で進めることが大切です。本号では、西部地区で取り組まれ、実際に効果の上がった学校の取組について紹介します。

全国学力・学習状況調査の分析は、核となる研究チームで！！ ⇒管理職を含めた機動力のある、少数編成のチームで分析

「全国平均を5ポイント上回る」もしくは「5ポイント下回る」といった正答率や得点に着目するだけでなく、データから考察を深め、課題を焦点化することが大切です。そのためには、研究主任一人の考えではなく、研究チーム等を編成し、複数で協議を行うことが必要です。このことは、分析の深まりはもとより、次世代育成や教員の指導力向上にもつながります。



学力向上につながる有効な取組を紹介します（効果の上がった学校からの聞き取り）

「めあて—まとめ・振り返り」の継続的な実施と共通実践の徹底



全職員で合意形成を図り、課題解決に向けた共通実践を日々の授業で着実に実施することが学力向上のポイントです。職員が一つになって共通実践を徹底している点がお話を伺った学校の共通点でした。

同僚性・共通実践の徹底

子供のつまずきを放課後学習で補充



学校への聞き取りを行う中で、補充学習が有効であると複数の学校から伺いました。ウイークデーの部活動の休養日に学校で補充学習を行う等、一人一人の子供の困り感に全校体制で確実に対応する取組が学力向上につながっています。

全校体制での学力補充の徹底

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

日々の授業が、「思考力・判断力・表現力」を育てる授業に偏らないよう、「知識・技能」の指導とのバランスを見直すことが大切です。例えば算数、数学では、「わかりやすく教える授業と子供に考えさせる授業のバランス」が重要です。「知識・技能」をねらう授業では、複数の適用問題を解いたりする等、1単位時間で取り組む問題数を増やすことも定着につながるのとことでした。



評価の観点による指導の在り方・学習量の確保

学校で家庭学習の計画を立て、家庭で実践（家庭学習の習慣化に効果）

学校で毎日10分程度の時間を設定し、家庭学習の計画を立て、家で実践するという取組も効果が上がるとのことでした。①教科書、ノート等を机の上に準備、②1日の学習の振り返り、③家庭学習の内容を決定、④余った時間は学校で学習に着手、⑤残りは家庭で実施。学校と家庭で、学びのサイクルをつくる取組です。自学ノートについても、具体的なテーマを提示することで、漢字練習・計算練習に限らない自主的な学びの「自学」になるとの声もいただきました。

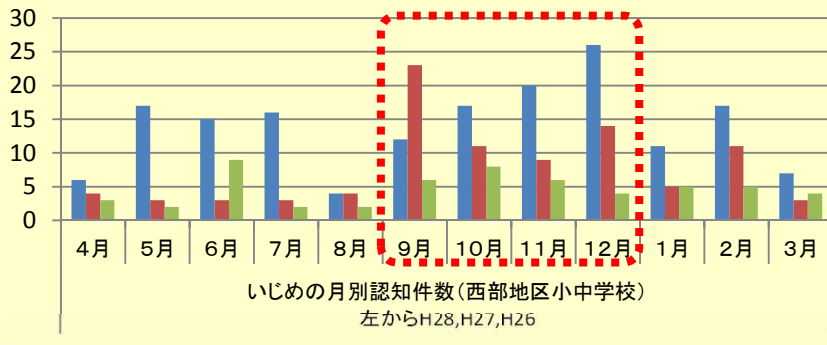


家庭学習の充実

学力向上が進む学校では、教職員同士の「同僚性」「共通実践の徹底」が重視され、指導研究の文化が確立されています。児童生徒の学力向上のために、引き続き全校体制での課題解決のための取組の推進をよろしくお願いいたします。

全ての子供にとって居心地のよい学校づくり ～いじめの未然防止と早期発見で、全ての子供が活躍する2学期へ～

様々な行事を通して子供が成長する2学期。充実した学校生活の中で力を発揮している子供がいる一方、「集団から孤立している」「表情が暗い」等、気がかりな言動や表情が見られる子供はいませんか？



左のグラフを見ると、

2学期は、いじめの認知件数が1年間で多くなる時期である

ことが分かります。「気がかりな言動や表情の背景に、いじめがあるかもしれない」という視点をもって、個々の子供や集団の些細な変化を敏感に捉え、いじめの未然防止と早期発見、適切な初期対応につなげましょう。



「鳥取県いじめ防止対策ガイドブック 笑顔でつながる」(鳥取県教育委員会)を参考に作成

気になる子供や集団の姿(例)

いじめが潜んでいる可能性がある時に見られるサイン

- サインや隠語を使っている。
- 教師が近づくと、グループが不自然に分散したり、急に仲のよいふりをしたりする。
- 班や座席を決めるときにスムーズに決まらない。
- 班長やリーダーを決める時に立候補しない。
- 掲示物に落書きが見られたり、画鋏等で傷がつけられたりしている。等



いじめられている時に見られるサイン

- 笑ってごまかそうとする。
- 周囲に過度な気遣いがみられる。
- 行事の練習で見学することが多くなった。
- 用もないのに保健室や職員室などに来て時間を過ごすことが多くなった。等



「チーム学校」として夏休み明けの子供を見取っていきましょう！！

子供に対する教師の思い込みをリセットする

- *問題行動が目立つ子供や行事のリーダーとなる子供に目が向き、アピールの無い子供が置き去りにされていないか？
- *教師から見て「困った子供」は、実は「困っている子供」ではないか？



夏休み中、学校から遠ざかっていた子供の様子を注視する

- *部活動に参加しなかったために、参加へのきっかけを失って距離感を感じている子供はいないか？

行事が多くなる時期こそ、きめ細かな指導を徹底する

- *行事の練習やグループでの話し合い等を子供任せにしないで、事前・事後指導で子供の動きや様子を把握しているか？

いじめの早期発見につながるアンケートの活用例

【アンケート項目の例】

- ・学校が楽しいですか。
- ・先生に相談したいことがありますか。
- ・今、困っていることがありますか。
- ・この頃、嫌な思いをしている友達がいませんか。

「『いじめ防止に係る無記名アンケート』について」も参考にしてください。
※いじめ・不登校総合対策センターHPからダウンロードできます。

- ・無記名式
- ・選択式
- ・少ない項目数
- ・毎月一回実施



- ◆短時間で実施・集約ができる。
- ◆○をやるだけなので、書いている様子が周りの友達にも分からず、安心して回答できる。

ここがポイント

その日の内に確認 → さりげなく面談につなげる

- 教師が回収し、ある程度子供が特定できるようにしておく。
- 個人が特定できない場合には、学年団による複数の目で子供の様子を観察する等、組織での対応を強化する。

アンケート結果を生かした教師のアクションは、「先生は助けてくれるんだ」という教師への信頼や、何かあった時には次のアンケートで○をつけよう、という子供自らのシグナルの発信につながっていきます。